

KIRAMEKI

vol. 35 *Spring* 2014

一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会

<http://www.doukuei.or.jp>



一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会第21回定時総会 一般社団法人 札幌空調衛生工事業協会第8回定時総会 一般社団法人 日本空調衛生工事業協会北海道支部会



道空衛 池田会長

はじめに

北海道空調衛生工事業協会（道空衛）ならびに札幌空調衛生工事業協会（札空衛）は、2月26日（水）ホテルさつぽろ芸文館で定時総会を、日本空調衛生工事業協会（日空衛）から日比専務理事が出席して日空衛北海道支部会を開催しました。道空衛・札空衛の定時総会、日空衛北海道支部会、総会後懇親会の概要は以下のとおりです。

一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会 第21回定時総会

はじめて池田会長が挨拶に立ち、国が講じてきたデフレ対策により、国内経済全体に明るい環境変化が生まれることも、前年度予算で措置された公共事業の進捗や消費増税前の駆け込み需要などに支えられ、15年ぶりに増加した建設投資に期待感を示しつつ、一方で建設需要の増加に伴う技術者や技能者の不足、労務費や資材費の高騰などから、空衛工事においても一部の発注案件での入札不調の発生や、受注した工事が利益につながらない事態が生じているなど、依然として不透明感を払拭するに至っていないとの見方を示しました。

また、これまで現場を支えてきた団塊世代の高齢化・リタイアにともない、技術・技能の継承が深刻な問題となる一方で、若者の技術ばなれ、ものづくりへの興味の低下に懸念を示すとともに

に、働く人達が、安心して将来を託せる環境作りを業界全体で進め、優秀な人材が集まる、魅力的な職場づくりを進めていくことが求められているとし、そのためには適正価格受注を通じて、我々自身が健全経営を継続していくことが必要であり、確かに見通しのものとの、公共事業費の確保、適正利益を確保できる入札契約制度の確立が、喫緊の課題だとして各発注機関への要望・提案活動を開いていくことを表明し、会員に協力を要請しました。

続いて「平成25年度事業報告」、「平成25年度会計決算報告と監査報告」の承認に続き、「平成26年度事業計画」、「平成26年度収支予算」、「平成26年度スローガン」が報告され、原案のとおり満場一致で事業執行していくことを確認しました。

主な事業活動は、「技術研修会」、「新入社員研修会」、「発注機関への要請活動」、「関係団体との意見交換会」のほか、道空衛が公益事業としてきた「1級管工事施工管理技士受験準備講習会」の継続開催、機関誌「KIRA MEKI」での環境関連記事の発信、パンフレット「水・空気」を活用しての空調衛生工事の広報事業等の実施が報告されました。

一般社団法人 札幌空調衛生工事業協会 第8回定時総会

「平成25年度事業報告」「平成25年度会計決算報告・監査報告」の承認に

一般社団法人 日本空調衛生工事業協会 北海道支部会

平成26年度日空衛北海道支部会は、日比専務理事を講師として「最近の日空衛の活動について」のテーマで講演会を開催しました。



道空衛 小坂副会長から顕彰状と記念品の贈呈

講演では、社会経済情勢の変化に伴う、建設産業の急速な環境変化や様々な問題の顕在化を踏まえ、「社会保険未加入対策」、「技能労働者への適切な賃金水準の確保」、「担い手確保・育成検討」、「入札の不調・不落対策」、「低炭素社会づくりへの対応」、「コンプライアンスの確保」、「直接発注の推進」、「新しい建設生産システムの構築」、「配管基幹技能者・ダクト基幹技能者制度」について、国の審議会における議論の方向性や国土交通省の動きなどのか、こうした課題に対する日空衛の対応状況について説明していただきました。

総会後の懇親会

札空衛・道空衛の合同懇親会には、会員と賛助会員、ご来賓を含めて126名の皆様にご出席いただきました。ご来賓からご祝辞をいただきとともに、平成25年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰を受章した、池田煥房工業(株)代表取締役社長 池田 煥様、(株)フォルテック 取締役会長 花松眞一様の栄誉を称え、道空衛の小坂副会長から顕彰



日空衛専務理事 日比文男様



平成26年度 スローガン

- ① 地球環境の保全、省エネルギー等の事業活動を通じて、低炭素社会づくりに貢献しよう
- ② 法令の遵守と企業の社会的責任を果たす事業運営を推進し、業界の社会的評価を高めよう
- ④ 直接発注（分離発注）運動を推進し、透明なコストと優れた品質の提供で、空調衛生設備の重要性を強くアピールしよう
- ⑤ 未来を担う技術者・技能者の確保・育成により業界の発展に努めよう

状と記念品が手渡されました。続いて日空衛専務理事の日比文男様の乾杯で懇親に移り、短い時間でしたが出席者全員が大いに親交を深め、北海道電業協会副会長の中野 章様の乾杯で盛況のうちにお開きとなりました。

【ご祝辞を頂いたご来賓】

北海道開発局 建築部長 吉野裕宏様
北海道建設部 建築局長 須田敏則様
札幌市都市局 局長 高橋 稔様

売り上げアップは接遇から 平成25年10月11日(金)

飲食販売等の業界は接遇にも力をいれておりますのでサービスも標準化されています。それに比べて当業界は建物内で作業する事が多く、対人面でも建築関係の限られた中の交流しかありません。

このような状況ですので建設設備業界も今後はおもてなしの心や顧客へのサービスを強化していく必要があります。建築現場の作業をこなすだけではなく、最終的に使用されるエンドユーザーにも受け入れられる品質・サービスが要求されていくと考えます。

今回のセミナーは閉鎖的な体質の業界が今後エンドユーザーからも受け入れられるようになればと思い企画しました。

講師は宇治由美子氏（うじ ゆみこ）をお招きました。心がこもった接遇・相手は何



を求めているのか?、リピートされる企業とは?、自社のファンを作る取組等、多くの経営のヒントを得ました。当業界も今後はなりたい職業上位にランクイン出来るようになってほしいと願います。

参加された会員の皆さま如何でしたでしょうか?少しでも業界の地位向上の為出来る事から取り組んでいきましょう!

皆さま今後もどうぞ宜しくお願いします。

札空衛総務担当：佐橋 光好

1級管工事施工管理技士受験講習

道空衛では、会員企業の有資格者を増やす最重要施策として、毎年7月（学科）と11月（実地）に受験準備講習会を開催しています。講習は札空衛の会員企業から講師を派遣していただくとともに、実地試験では、札空衛技術委員会からも添削指導員を派遣してマンツーマンの指導を行っています。平成25年度は学科試験で21名中8名が合格し、実地試験で10名中8名が合格しました。講習会は、本年度も引き続き多数の皆様の受講をお待ちしております。

大倉山・宮の森ジャンプ競技場

株式会社真紀設備設計事務所 部長 山下寿夫
株式会社アクセス 取締役 島野敏幸

本年2月に開催された第22回オリンピック冬季競技大会（ソチ）では、ラージヒル個人で葛西紀明選手が銀メダル、ラージヒル団体で銅メダルの快挙でした。

スキージャンプ競技のメダルは1998年に開催された第18回大会（長野）以来、12年振りのものとなりましたが、この間に大倉山ジャンプ競技場はナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点基地に指定され、多くの選手がトレーニング、競技会で利用してきました。

大倉山ジャンプ競技場は1972年（昭和47年）に開催された、第11回オリンピック冬季競技大会の90m級（現ラージヒル）で使用されました。

大倉山ジャンプ競技場は、以前には「大倉シャンツェ」と呼ばれて昭和6年10月6日に完成、翌年の7年1月16日にこけら落としを行い、翌17

日には「第5回全日本学生スキー選手権大会」が開催されました。

「大倉山」は標高307mで、大倉シャンツェが出来る以前は、札幌郡琴似村大字琴似村の「オノコの沢上流高地」という通称で呼ばれおり、「大倉山」と名前がついたのは、古い「大倉シャンツェ」をオリンピック開催のために大改修に着手した昭和45年（1970）以降で、ドイツ語の「シャンツェ」を「大倉山ジャンプ競技場」と英語読みに変えた時に「山」の一字が付け加えられたと言われ、それ以来、正式に「大倉山」と固有名詞で呼ばれるようになりました。

大倉シャンツェの生みの親は3人いるとされ、ブレークリングトラックの両脇、向かって右側の遊歩道入口に「大野精七博士」顕彰碑、左側のリフト山麓駅近くに「大倉喜七郎男爵」顕彰碑が建っている。そしてもうおひど方、昭和天皇の弟宮で「秩父宮殿下」であります。

秩父宮様が嚴冬の北海道で一夜を過ごされた手稻の山小屋での語らいの中でアイデアを提案され、それを聞いた北大スキー部長だった大野精七博士がシャンツェ造りに尽力され、宮様の意を受けた大倉組（大成建設）が私財を投じ、昭和6年7月着工し10月6日に竣工しました。初代「大倉シャンツェ」（60m級）は総工費5万48円、アプローチ100m、ランディングバーン130m、ブレークリングトラック150m、付属施設として貴賓席、審判席、観覧席が設けられ、昭和7年3月15日に札幌村に寄付されました。

その後、昭和27年（1952）に80m級に改修され、昭和45年（1970）にオリンピック開催のために工事費7億7千万円を投じ大改修（K=110）を実施しました。（この時に文部省に移管され「大倉山ジャンプ競技場」と名称を改めました。

昭和61年（1986）に、国際スキー連盟（FIS）のルール改正に

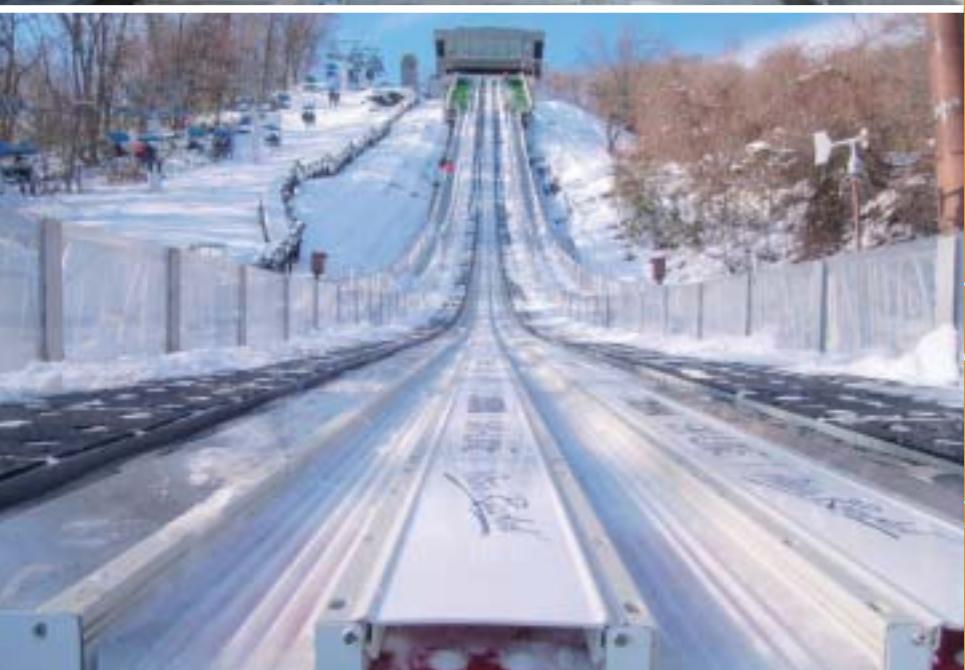
〈施設概要〉
工事名：大倉山ジャンプ競技場ほか
クーリングシステム整備工事
施設名：大倉山ジャンプ競技場
札幌市中央区宮の森1274ほか
宮の森ジャンプ競技場
札幌市中央区宮の森1条18丁
目ほか
施主：札幌市
設計：札幌市観光文化局スポーツ部
株式会社 真紀設備設計事務所
(総合監修) 株式会社 アクセス
総工費：399,707,700円
インラン部長さ：
大倉山ジャンプ競技場 101.0m
宮の森ジャンプ競技場 86.4m
工期：平成25年7月23日
～平成25年12月25日
施工者：工成舎・日比谷特定共同企業体



スタートハウス格納庫（大倉山）

インランカッター・カバーユニット

冬期クーリングトラック（隣の蓋付がサマートラック）



伴いランディングバーンとカントを改修し、K点115mに改修され、平成7年3月31日には、ジャンプ台本体、審判棟、運営本部棟が本市に譲渡されました。

V字飛行及び用具の進歩により、飛躍的に飛距離が伸びたことにより、FISのルールが改訂され、平成8年（1996）にジャンプ台のプロフィールは全面改修（工事費26億程度）され現在に至ります。

今回のクーリングシステム工事は、FISのルール改訂により、「主要大会を実施する競技施設にはインラン部分にクーリングシステムを備えていかなければならない」とされたことにより実施したもので

人生放浪記 — 竹富島編 —



ます初めに、かつて同じく管工事業に携わりながらも経営を破綻させてしまったわたくしに、再び道空衛会員の皆様の耳目に触れるこのよき機会を作っていました。会員並びに広報委員各位に深く感謝申し上げますとともに、恥じ入ってご挨拶を申し上げます。

2007年、破綻後の残務処理を終え私が移住した場所は沖縄県八重山郡の竹富島という小さな島でした。何故その島

に渡ったのか、またそこに至るまでどのような経緯を辿ったのかなどは紙面の都合上割愛させていただき、ここでの生活のこく一部をご紹介いたします。

竹富島は人口約350人、北海道から南西の方角およそ3000キロを隔てた亜熱帯に位置します。島の周囲9・2km、一年の平均気温は24℃、西表石垣国立公園の石西礁湖と呼ばれるサンゴ礁のほぼ中央に浮かんでいます。

私はこの島で島の文化や歴史を解説する観光ガイドをやっていたのですから、島の伝統文化について語りだすとキリがありませんので、そちらの方面にご興味のある方がいらっしゃれば後日個別にでもご説明いたします。

従事していた観光ガイドがどのようなものであったかと申しますと、ご存じでない方はイメージしづらいかもしれません、水牛車による島内遊覧ガイド、どちらのことになります。水牛が曳く座席付きの大きな荷車みたいなものに観光客を乗せ、約30分島内を周遊しながら文化や歴史について解説していきます。オスの水牛なら20人、メスなら10人～15人くらいを運ぶことが可能です。水牛はもともと沖縄地方に生息していた動物ではありません。昭和の初めに台湾からの移住者が石垣島の名蔵といつ場所に入植する際、農耕用として連れてきたのが最初です。

としてやうなればならないことは思いますが、その他に、月一回のムラムエー（集落の寄合）と路肩の草刈り、年に何回かの海浜清掃、年に二回の島内大清掃点検、白砂の道の毎朝の掃き清め、都度招集される会合など、島人（しまんちゅ）



ちなみに余談になりますが、八重山地方日本最西端に位置する与那国島から台湾までの距離は110kmほどで、台湾が日本領だった時期も含めて歴史的に八重山地方と台湾とは海上交通が盛んでした。終戦になつてもその直後から密貿易が行われていたらしく、「これが復員で戻れ上がつた八重山地方の人々の糊口をしのぐ一助にもなつたようです。このように台湾との繋がりが深いことから、石垣島の中華料理屋さんは美味しい、という評判が今でもまことしやかに囁かれています。話が少し逸れました。

さて、日中、水牛車観光の労働力として働く水牛たちは、夜のあいだ島のあちらこちらにある空地のよだな草っぱらで食うか寝るかをしています。私たち職員にはそれぞれ担当の水牛があり、仕事が終わると適当な餌場兼ねぐらを探して水牛を連れ歩き、朝はまだ暗いうちに彼ら

島の西端に今はもう使われなくなつた古い桟橋があり、月も風もない夜この西桟橋に行くと、まれに満天の星空が鏡のようにになった嵐の海に映ることがあります。海の中では夜光虫が更なる光を加え、南の島の月のない夜はいつも満天の星空で、夏には水平線上に南十字星も現れます。

島の西端に今はもう使われなくなつた陸地のわずかな陰を彩ります。自分を取り巻く全天球が光点に満たされるという体験をしたのは、3年弱の島生活の中でも一回だけだったと思います。

ここまで話だと、島は年がら年中の振り返れば明滅する螢が、海に張り付いた陸地のわずかな陰を彩ります。自分を取り巻く全天球が光点に満たされるという体験をしたのは、3年弱の島生活の中でも一回だけだったと思います。

ここまで話だと、島は年がら年中の振り返れば明滅する螢が、海に張り付いた陸地のわずかな陰を彩ります。自分を取り巻く全天球が光点に満たされるという体験をしたのは、3年弱の島生活の中でも一回だけだったと思います。



してその仕事として、島の人口の約9割は観光業に従事しています。というのも、竹富島には年間約40万人の観光客が訪れるのです。人口350人が一日平均1千人以上のお客さんに対応するのを想像してもうえれば、案外と島の生活が忙しいのをわかりいただけだと思います。

年間40万人もの観光客が訪れる竹富島ですが、コンビニエンスストアやスーパーのようなものはありません。飲食店が何軒かと小さな商店がわずかばかりあるだけです。主な公共機関も保育所、小学校、郵便局、診療所があるだけで、警察や消防署、税務署などの役所の機関はありません。ですから、島民が食料品なんかの生活物資を購入する場合は、生協に加入し週に一回コンテナで運んできてもうか、休みの日に石垣島に買い出しに行くかしなければなりませんし、諸官庁に用事があるときは同じく船に乗つて石垣島まで足を運ばねばなりません。

八重山地方として包括される地方自治体は、石垣市（石垣島）、竹富町（竹富島、西表島、小浜島、黒島、波照間島、新城島、鳩間島など）、与那国町（与那国島）の三つになりますが、石垣島は離島航路におけるハブ化が進み、大型船舶を中心としたモールなども形成され、諸官庁に関してはすべてがここに集中しています。そして驚くことに、竹富町の町役場までがこの石垣島にあります。竹富町役場の所在地及び竹富町長の政務執行場所が石垣市内ということになるわけです。

よく、「沖縄は閉鎖的」などと言われ、

それで、そんな故郷を出て私が次に向か

た先はニューヨークでした。

なぜ単身ニューヨーク

に行ったのか、ニュー

ヨークでどんな生活

をしていたのか、も

し、いざれまた機会

があればご披露し

たいと思います。

を出勤させるの

が、一日の

普普通に歩けば2分の

ところを20分かかる

たりしますが、船の

往来が止まり観光客も

まばらになつた夕暮れの

牛歩なので、人間が

普普通に歩けば2分の

ところを20分かかる

たりしますが、船の

往来が止まり観光客も

まばらになつた夕暮れの

</div

何にどれだけエネルギーを使用しているのか可視化し管理する事で、余分なエネルギー消費を削減する「見える化」システム。

今回も前回に引き続き北海道科学大学（旧 北海道工業大学）にご協力いただき、2号にわたり連載で「見える化」システムを活用した省エネルギーへの取り組みについてご紹介します。



「見える化」システムを活用したキャンパス施設の省エネルギー（その2）

北海道科学大学（旧 北海道工業大学）工学部 建築学科

環境工学研究室 准教授 魚住 昌広



既設システムの評価

エネに対する効果については、教職員の評価で70%、学生では40%程度が効果を期待しているが、システムの認知が低いこともあります。査時点では、高い評価とは言えない。

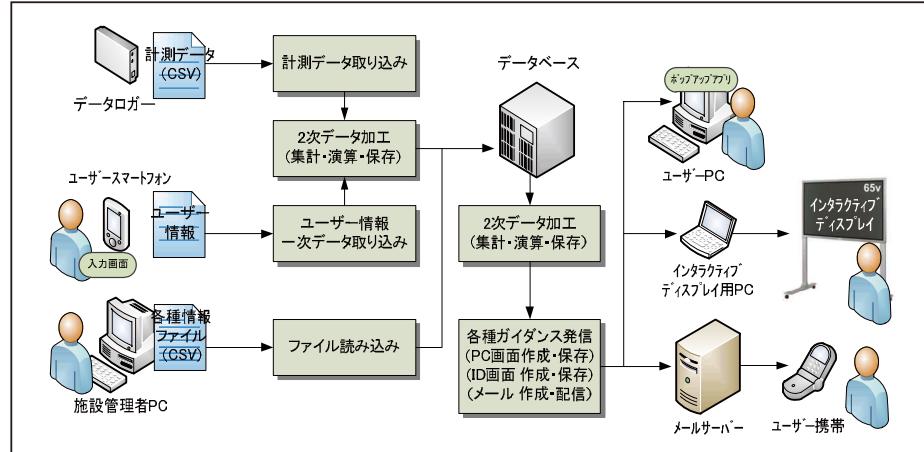
既設システムの評価

「見える化システム」の導入以降、消費エネルギーデータの公開、照明の点灯放置や暖房設備の設定温度の確認を中心とする省エネパトロールや各種の省エネキャンペーンの実施、各室の管理実態や設置機器の実態調査、省エネ意識や行動に関するアンケート調査など、制御機器やシステムの改良に依存しない省エネ活動に取り組み、データの収集と分析、省エネ行動計画の策定と実践および実効評価を行ってきた。

しかし、アンケート調査でも明らかなように、「見える化システム」の認知度・利用度はまだ低い状況である。現行のシステムは、教職員・学生ともに施設のホームページ上でデータを閲覧する方式であるが、ユーザーからのアクセスに依存する受動的な方法では、利用度の大幅な向上は望めない。また、照明や各種設備、機器の使用状況についても計測機器の増設には限界があり、全負荷に対応するなどの情報「受信」機能を持つように、再構成する必要があると考えられる。

既設システムの評価

既設「見える化システム」の運用評価をもとに、施設利用者や設備運転管理者に天候などの環境変動要因や施設の利用状況などに応じた省エネ行動や設備の省エネ運動を促すコ



●図8 新ユーザーインターフェイスの構成 ●



●図9 i-ESAS ディスプレイ画面 ●

寒冷地型スマートキャンパスの構築へ向けて

本学におけるエネルギー計測監視システムの構築は、経済産業省資源エネルギー庁が日本総合研究所を通じて公募した「平成21年度省エネルギー計測監視等推進事業」の補助事業に選定され実施したものです。また、「見える化」を有効活用する設備運用モデルの策定とユーザーインターフェイスの技術開発は、国土交通省「平成23・24年度住宅・建築関連先導技術開発助成事業」としてパナソニック電工エンジニアリング㈱・㈱シティック環境研究所を共同事業者として実施したもので、関係者各位に対して記して謝意を表します。

の弱点を補うものである。また、ガイドンス配信を受けて、設備の運転管理者や施設の利用者が省エネ行動を行うかどうかを、人の判断に委ねている点を最大の特徴としており、高価な自動制御システムを必要としていない。そのため、あらゆる用途や規模の建物に導入可能であり、専任の管理者の不在などで省エネが進んでいない建物においても省エネを実現できるシステムである。図9に示すディスプレイ機能は、従来の見える化システムをベースにしたものであり、PCやスマートフォンから利用を可能としている。

表示される情報は、電力消費量、A重油消費量、一次エネルギー消費量、予測電力消費量、アトリウム温度の推移、利用者情報、熱源運転状況、講義室利用状況などを確認することができます。その他の時刻や外気温等のオブジェクト情報枠と利用者コメント欄が設けられている。

スマートフォン版は利用者の温冷体感情報入力機能とコメント機能があり、温冷体感情報は熱源の運転判断に利用され、コメントはPC版ディスプレイに掲載される。コメントは施設管理者に対し施設利用者が設備の運転・運用に関して改善すべきところを発信することを目的としている。

「見える化システム」の導入後、省エネ支援システム・i-ESAS の開発を行った。

平成25年1月から本学講義棟を対象に試験運用を開始した。新システムの構成を図8に示す。

開発システムは、計測データの判定閾値や

設備の状況毎の省エネ運転や設定をルールとしてあらかじめモデル化した簡易分析診断機能、ガイダンスマッチセーニング（メール）の配信を行った。新システムの構成を図8に示す。

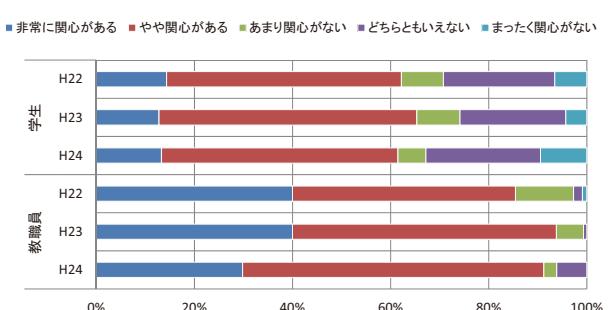
「見える化システム」に対する関心度調査結果の一部を図5から図7に示す。「環境・省エネ」に対する関心は高いものの、日常的な行動で実践している比率は学生において増加しているが、高くなっていることがわかった。本調査では省エネ行動を「学内での行動」に限定しているため、特に低学年の場合は、学生個人が具体的な行動を行う状況が多くなることも原因と考えられる。また、「見える化システム」の認知度は、学生の場合、年度、学年を経ることで増加しているものの、「ある程度知っている」を含めて25%程度とまだ低い状態である。システムの省

エネ支援システム運用開始後の平成22年から、施設利用者（全学生・教職員）を対象に環境・省エネ問題に対する関心や行動、「見える化システム」の認知度、利用度の調査を目的にアンケート調査を実施した。

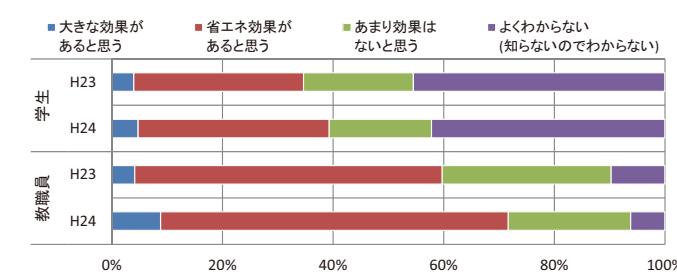
調査結果の一部を図5から図7に示す。「環境・省エネ」に対する関心は高いものの、日常的な行動で実践している比率は学生において増加しているが、高くなっていることがわかった。本調査では省エネ行動を「学内での行動」に限定しているため、特に低学年の場合は、学生個人が具体的な行動を行う状況が多くなることも原因と考えられる。また、「見える化システム」の認知度は、学生の場合、年度、学年を経ることで増加しているものの、「ある程度知っている」を含めて25%程度とまだ低い状態である。システムの省

エネ支援システム運用開始後の平成22年から、施設利用者（全学生・教職員）を対象に環境・省エネ問題に対する関心や行動、「見える化システム」の認知度、利用度の調査を目的にアンケート調査を実施した。

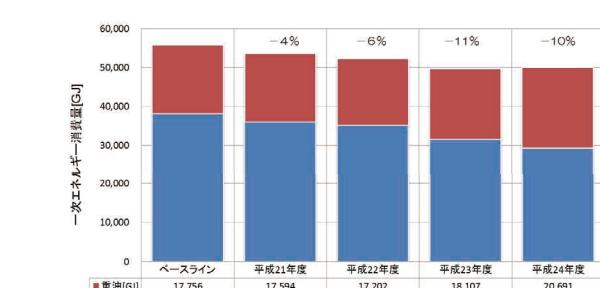
調査結果の一部を図5から図7に示す。「環境・省エネ」に対する関心は高いものの、日常的な行動で実践している比率は学生において増加しているが、高くなっていることがわかった。本調査では省エネ行動を「学内での行動」に限定しているため、特に低学年の場合は、学生個人が具体的な行動を行う状況が多くなることも原因と考えられる。また、「見える化システム」の認知度は、学生の場合、年度、学年を経ることで増加しているものの、「ある程度知っている」を含めて25%程度とまだ低い状態である。システムの省



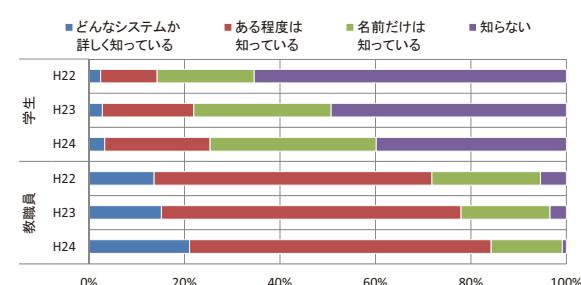
●図5 環境問題・省エネに対する関心 ●



●図7 「見える化システム」の省エネに対する評価 ●



●図4 一次エネルギー消費量の推移 ●



●図6 「見える化システム」の認知度 ●



「見える化システム」の稼働を開始した平成21年度からの全学の年間一次エネルギー消費量の推移を開示す。ベースラインは平成18年、新体育館を除く施設床面積（5万m²）に対する単位面積当たりの一次エネルギー消費量は平成24年度の3年間の平均とした。

示す。ベースラインは平成18年、新体育館を除く施設床面積（5万m²）に対する単位面積当たりの一次エネルギー消費量は平成24年度の3年間の平均とした。

年度実績値で906MJ/m²・年（非住宅建物の環境関連データベース統計処理情報2010-12）を約14%下回る結果となっている。

下回る結果となっている。

始した平成21年度からの全学の年間一次エネルギー消費量の推移を開示す。ベースラインは平成18年、新体育館を除く施設床面積（5万m²）に対する単位面積当たりの一次エネルギー消費量は平成24年度の3年間の平均とした。

示す。ベースラインは平成18年、新体育館を除く施設床面積（5万m^{2</sup}

KIRAMEKI

vol.35

広報委員会

●道空衛・札空衛

委員長

里中 雅幸 (株)興北暖房工業所

担当理事

中山 明 (高砂熱学工業株)

編集長

安井 和哉 (株)栗林商会

副編集長

河村 憲一 (東洋熱工業株)

委 員

鷺尾 太郎 (株)大氣社

工藤 守彦 (三建設機械工業株)

山田 力也 (株)昭和プラント

池田 真士 (池田暖房工業株)

大村 力 (日本空調サービス株)

渡部 正益 (株)日新工業

●道空衛

十勝圏担当

森 賢伸 (森設備工業株)

釧路圏担当

菊地 美幸 (太平洋設備株)

編集責任者

西川 清一 (株)ニシカワ産業

印 刷

株式会社 東和プリント

札幌市中央区北 6 条西14丁目1-1
TEL 011 (208) 5535

道空衛広報誌「KIRAMEKI」を読んで
のご意見・ご感想をお寄せ下さい。
投稿もお待ちしております。

●送り先

〒060-0004

札幌市中央区北 4 条西19丁目

北海道設備会館内

TEL 011 (621) 4106

一般社団法人 北海道空調衛生工事業協会
広報委員会

きらめき

Shining woman Shining woman
道空衛会員各社の“我が社の今一番きらめき、輝いている女性社員”を紹介していく
☆きらめき☆...

Shining woman (道空衛会員名簿掲載50音順)an

第9回 札幌圏支部

株式会社 興北暖房工業所

総務部主任

松岡 裕子さん

日々のお仕事の内容は?



務、経理を担当しております。支払業務、財務仕分データの入力、請求書・見積書の作成、工事書類の作成、入札参加申請の手続等です。

どんな事に気をつけながらお仕事をされておられますか?



ひとつひとつの仕事を確実に、後悔のないように、ということを心がけています。少しでも不安な時は、自分の考えだけにとらわれずに、周りに確認したり、調べたりする事がミスを無くすことにつながると思います。もうひとつ、いつも平常心でいる事も大事にしています。余裕の無いときは、意識的に心の中で歌いリラックスしています。

会社のPR



より年下の方が多いのですが、皆さんとても仕事に真摯に取り組んでいて、見習うことが多いです。仕事以外での社員同士の交流も深く、和気あいあいとした雰囲気が感じられます。

休日の過ごし方は?



物が好きで、9~11歳のトイプードル4匹と熱帯魚を飼っています。この時期で、早朝2時間程かけて犬の散歩をし、その後日帰り温泉に行き、帰ってから水槽の掃除をするというのが一番多い休日の過ごし方です。これから夏にかけては、主人に付き合い、月1で更別の十勝スピードウェイに行っております。

趣味・特技は?



栽、観葉植物を育てています。花物は枯らしてしまうことが多いので、今春はぜひとも桜や梅盆栽をきれいに咲かせたいですね。



製葉書

今回、沖縄県竹富島での思い出をご寄稿いただきました田中さんはこの「きらめき」の編集を行っていた我々広報委員の先輩です。複雑な胸中もあったかと思いますが本号にご協力いただきありがとうございました。

そうそう、私がこの委員会に入った時のことを思い出しました。いきなり全道会議の取材ということで北見に連れて行かれましたね。訳も解らず2メガしかしない自分のデジカメで写真を取ったり、汗をかきながらメモを取りました。もちろん使える写真などなく、ひどいものでした。でも、やってくうちに何とかなっていくものですね。いつのまにか副編集長なんかになってしまって、特集を任せもらえるようになりました。

札幌コンサートホール「Kitara」の10周年を迎えた時の特集では、ビーゴーイング(株)の鈴木社長にご案内頂き「Kitara」のバックヤードに入らせてもらったり、建設中のエピソードを掲載させていただくことが出来たり、色々な関係者の所へ伺いご投稿いただいたりと仕事そっちのけで走り回っていました。

大変ではあるんですが、皆で集まりアイデアを出し合い作っていくこと。そして、それが形となって出来上がることがうれしくて委員のみんなもガンバってくれていたのだと思います。そんな中で、1号だけ欠番となり発刊されなかった号があるんですよ・・・KIRAMEKIトリビアです。そして、1年ほどの休刊時期もあり、紙面を一新し「RE・START」することになり、その時に編集長をさせて頂けるようになりましたが今号にて退任します。

これからも、「KIRAMEKI」を宜しくお願いいたします。

編集長 安井和哉